

## 2017年度跡見学園女子大学附属心理教育相談所活動報告

## 1. 2017年度 年間活動報告

### 所員の構成

平成29年度の相談所の所員構成は、相談所相談員・補助相談員（臨床系教員）10名、事務担当者3名、インターク面接担当者6名（平成30年2月より7名）であった。

### 平成29年度相談員・補助相談員と開所日

平成29年度相談所開所日と相談員・補助相談員は以下のごとくであった。

平成29年4月4日（火）から平成29年8月5日（土）および平成29年8月21日（月）から平成30年3月31日（土）までは週6日開所とした。平成29年12月26日（火）から平成30年1月5日（金）の冬季休業中は閉所とした。

また、文京分室ATOMIさくらルームにおいては、上記開所日のうち、木曜日・土曜日を閉所とした。

相談員 野島 一彦（臨床心理学科・教授）  
中野 敬子（臨床心理学科・教授）  
松崎くみ子（臨床心理学科・教授）  
宮岡 佳子（臨床心理学科・教授）  
宮崎 圭子（臨床心理学科・教授）

補助相談員 伊澤 成男（臨床心理学科・教授）  
阿部 洋子（臨床心理学科・教授）  
酒井 佳永（臨床心理学科・准教授）  
新井 雅（臨床心理学科・講師）  
前場 康介（臨床心理学科・講師）

### 相談所周知のための活動

本相談所のパンフレットを、他大学相談所等（107カ所）、近隣小・中・高等学校（100カ所）、近隣の保育園・幼稚園・放課後児童保育室（51ヶ所）、教育委員会・教育相談センター等（9カ所）、埼玉県内の病院・クリニック（16カ所）、保健センター・児童相談所・子育て支援センター等（15カ所）、その他民間相談室等（10ヶ所）に送付し、あわせて本学公開講座受講者、本相談所無料講習会受講者にも配布した。（下記表参照）

大学相談所、教育委員会、病院・クリニック、保健センター・児童相談所、子ども相談室・子育て支援センター等にはポスターも送付した。

また、新座駅・志木駅構内掲示板へのポスター掲示およびショッパー（川越中央版、坂戸・鶴ヶ島版、所沢版、新所沢版、狭山版）への広告掲載も行なった。

表1. パンフレット送付先 (2017年6月～9月発送)

分類	箇所	分類	箇所
近隣小・中・高等学校	100	他大学相談所等	107
教育委員会、教育相談センター等	9	病院・クリニック等	16
近隣保育園・幼稚園・放課後児童保育室	51	不登校生の親の会等、民間相談室	10
保健センター、児童相談所、子育て支援センター等	15	公開講座、講習会	2
合計	310カ所、計1473部配布		

【29年度来談経路内訳】

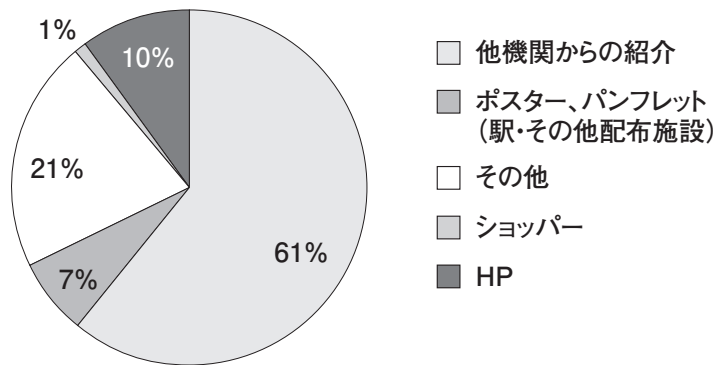


図1 29年度来談者経路

# 【相談所パンフレット】



## 跡見学園女子大学 心理教育相談所



### ■新座キャンパス 心理教育相談所

〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL:048-478-2177

### ■文京分室 ATOMI さくらルーム

〒112-0002 東京都文京区小石川5-5-5 ユニソ茗荷谷ビル7階 TEL:03-3944-8151

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/index.html>

## 【ご相談内容】

跡見学園女子大学 心理教育相談所では、以下のような相談をお受けしています。

### 学校に関する悩み

- 学校にいけない
- いじめにあってる
- 友達とうまく付き合えない
- 学業について困っているなど

### 家庭生活に関すること

- 非行や家庭内での暴力に困っている
- 夫婦・親子・家族関係に悩みがある
- 近所付き合いについて悩んでいる
- 生活環境に問題があるなど

### 職業に関すること

- 仕事がつい
- 仕事にいけない
- 職場の人間関係で困っている
- 就職・転職について悩んでいるなど

### 育児や障がい児の教育の悩み

- 子育てに困っている
- 障がい児のことで悩んでいる
- 障がい児にどう向き合うか困っている
- 障がい児をいかに育てるかを知りたいなど

### 自分自身の性格や健康

- 人と話すのが苦手だ
- 自分の性格について悩んでいる
- 自分の精神的健康に自信がないなど
- 生き方について悩んでいるなど

※このようなご相談に対して、カウンセリング、心理療法、心理テストなどを行っています。 ※ご相談内容につきましては秘密厳守いたします。  
※ご相談の内容によってはお引き受けできない場合もございます。

不登校を考える親の会(新座：第1、第3金曜日の午前10時～12時、文京分室：第2、第4木曜日の午後13時～15時)

## 【受付から相談まで】

本相談所は完全予約制となっております。 まずはお電話にてお申し込みください。

【予約受付電話番号】 受付時間：午前9時～午後4時

新座キャンパス心理教育相談所 **048-478-2177**

文京分室 ATOMIさくらルーム **03-3944-8151**

初回の相談の予約をお取りし、ご相談の詳しい内容やこれまでの経緯、その他必要と思われることについて、臨床心理士およびカウンセラーが伺わせていただきます。

※電話での相談は受け付けておりません。また、大学の長期休暇等で受付時間を変更する場合があります。

※現在ほかの医療機関や相談機関にかかられている方は、治療担当者にご相談の上、お越しください。

・本相談所は臨床心理学専攻の大学院生の研究機関を兼ねています。  
・大学院生が陪席および相談を担当させていただく場合がございます。



面接室

毎年5回程度、教員による心の問題をめぐる「講習会」(無料)を開催[詳細はホームページ]



## 2. 相談活動報告

2017年4月1日から2018年3月末日までの相談としては、新規相談件数72件、延べ来所件数1048件、延べ来所人数1130名であった。

来談者の主訴は、子供の学校における問題、引きこもり、親子関係の問題、家族の問題など現代の世相を反映する傾向が認められた。月別来談者数および相談内容は以下のごとく。

**表1. 月別来談者数**

2017年4月～2018年3月末の来談者数

【新座キャンパス相談所】

	初回相談件数（件）	延べ相談回数（回）	延べ来所人数（名）
2017年4月	5	56	60
5月	3	57	61
6月	8	61	67
7月	3	75	76
8月	3	44	46
9月	7	64	69
10月	9	79	90
11月	5	72	81
12月	5	72	80
2018年1月	4	77	85
2月	5	77	84
3月	5	94	104
2017年度合計	62	828	903

【文京分室ATOMIさくらルーム】

	初回相談件数（件）	延べ相談回数（回）	延べ来所人数（名）
2017年4月	3	22	24
5月	0	20	20
6月	0	24	25
7月	1	20	20
8月	0	10	12
9月	1	19	20
10月	2	18	18
11月	0	13	13
12月	2	15	15

2018年1月	0	15	15
2月	1	18	19
3月	0	26	26
2017年度合計	10	220	227

**表 2. 来談者の相談内容**

2017年4月～2018年3月の来談者の主訴

来談者による主訴の種類	件数
家族の相談	55
自分自身の問題・性格	31
抑うつ・情緒不安定	13
対人関係	9
社会不適應	3
不登校	8
不登校の親の会	14
その他	17

### 3. 不登校を考える親の会報告

わが国の小・中学生の不登校は相変わらず10万人を超えている。そのような子どもに対して直接働きかけることは非常に難しく、次善の対応として親へのサポートがある。本相談所でもそれを行うべく、相談活動の一環として「不登校を考える親の会」を月に2回（新座キャンパス：第1、第3金曜日の10時～12時、文京分室ATOMIさくらルーム：第2、第4木曜日の午後1時～3時）、開催している。2018年4月からは新座キャンパスの開催を第1、第3木曜日に変更し、継続して活動していく予定である。



跡見学園女子大学附属心理教育相談所

#### 「不登校を考える親の会」のご案内

小・中学生の不登校は、相変わらず10万人を超えています。学校に行かない子どもには、ひとりひとりそれなりの事情があります。

学校に行けない、行きしぶる、教室に入れない、朝起きられない、朝になると体調が悪くなる、イライラしている、落ち込んでいる、昼夜逆転している、部屋に引きこもっている、友達とうまくいかない、こんな様子はありませんか。

このような子どもをどう理解すればいいのか、どう向き合えばいいのか、親の会で、みなさまと一緒に話し合い、考えてみませんか。

**\*担当スタッフ**：野島一彦（跡見学園女子大学教授 臨床心理士）  
他 相談所所員

**\*日時・場所**：平成30年4月より平成31年3月まで  
（新座キャンパス心理教育相談所、文京分室ATOMIさくらルームともに開催しています。）

#### 新座キャンパス心理教育相談所

第1・第3木曜日 10：00～12：00（2時間）

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/facility/>

#### 文京分室ATOMIさくらルーム

第2・第4木曜日 13：00～15：00（2時間）

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/facility/index.html#bunkyo>

※継続的な参加、単発的な参加どちらでも可能です。

**\*定員**：10名

**\*参加費**（相談料）：1回500円

**\*申し込み方法**：希望日の前日16：00までに、  
下記へお電話でお申し込みください。  
（初めての方は1週間前迄にお申し込みください）



#### 申し込み・お問い合わせ

跡見学園女子大学附属心理教育相談所

（埼玉県新座市中野1-9-6）

TEL 048-478-2177（相談受付/月～土 9：00～16：00）

ホームページ <http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/index.html>



## 4. 講習会報告

多くの方々に本相談所の存在を認知して頂くための活動の一環として平成15年度より開催してきた『講習会～こころを癒す～』を、今年度も開催した。

講習会を広報するとともに本相談所の存在を知ってもらい、心の問題を抱えているにもかかわらず専門機関に相談することをためらっている人に、本相談所を訪れるきっかけを作ることを目的とした。講習会の広報については、公共機関での広報、地域広報誌・ホームページへの掲載により行った。

### 講習会日程と参加人数

今年度は一般対象講習会を新座キャンパスにて全5回、文京キャンパスにて全5回開催した。開催日時およびテーマについては各講習会講師による講習会の概要報告の項を参照されたい。

講習会の延べ参加人数は新座キャンパス242名、文京キャンパス119名であった。受講者の性別、年齢、職業、居住域、講習会を知った媒体については、以下の受講者傾向を参照されたい。併せて受講後アンケートの結果も以下に示してある。

### 受講者の傾向（新座キャンパス）

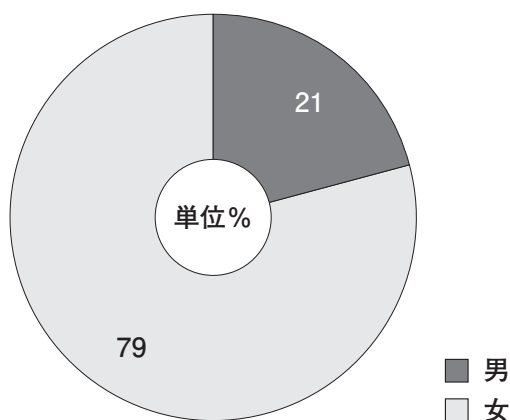


図1 講習会参加者性別構成 (N=242)

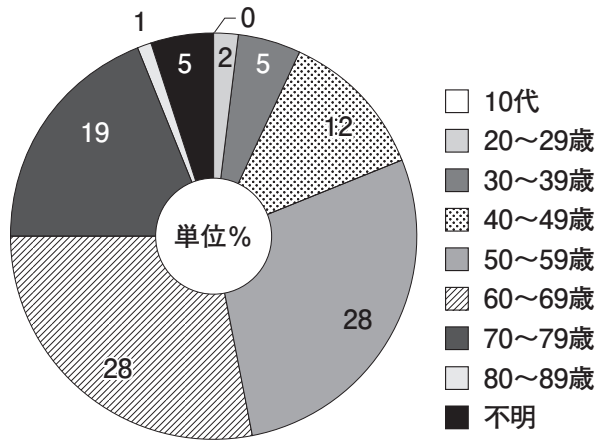


図2 講習会参加者年齢構成 (N=242)

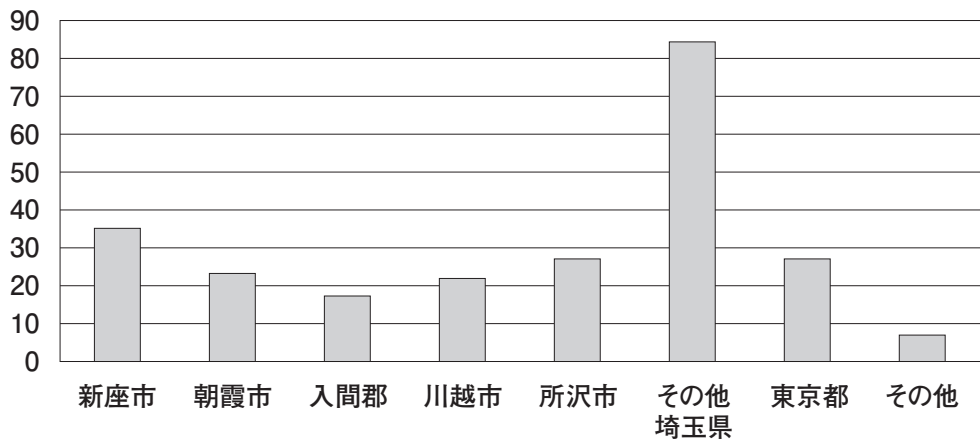


図3 講習会参加者居住地内訳 (N=242)

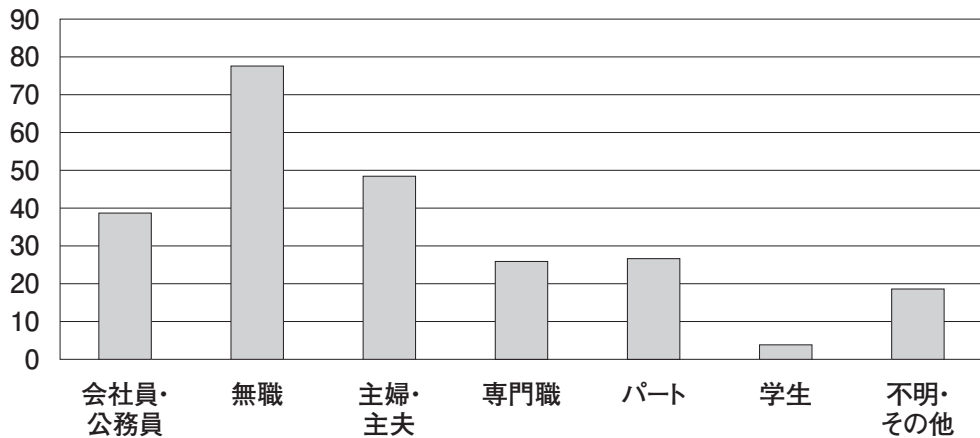


図4 講習会参加者職業内訳 (N=242)

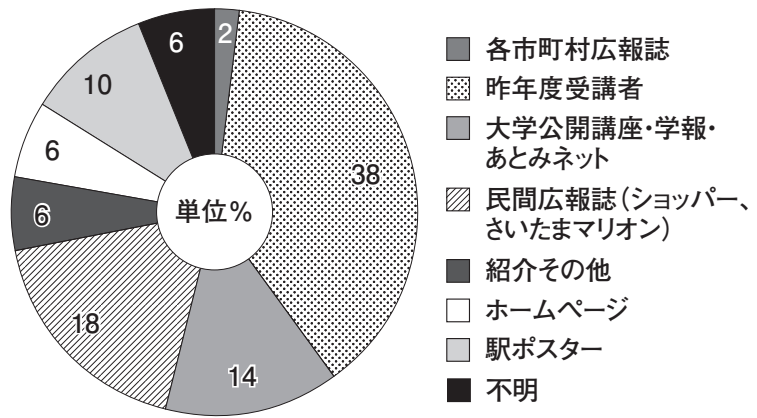


図5 講習会参加者経路内訳 (N=242)

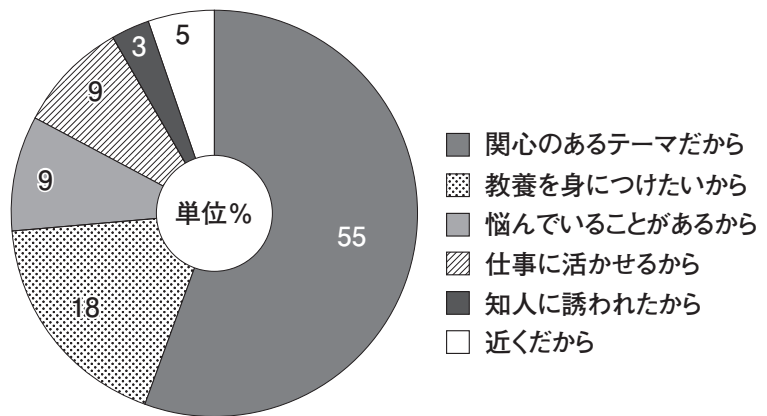


図6 受講した理由 (N=242)

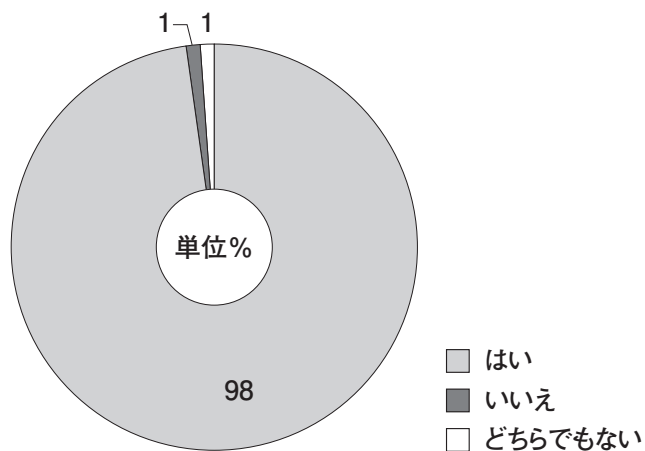


図7 講習会の内容を今後の生活に活かせると思うか (N=242)

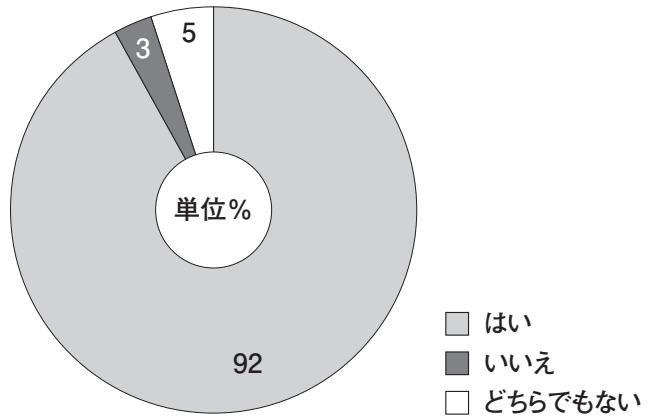


図8 自分自身の悩みや問題を解決する手助けとなったか (N=242)

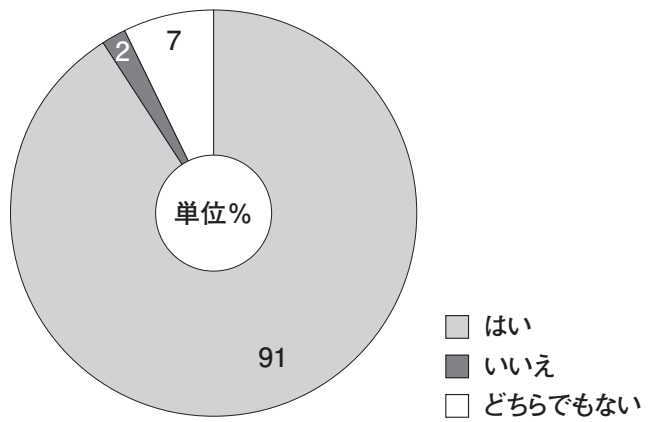


図9 受講内容は期待通りだったか (N=242)

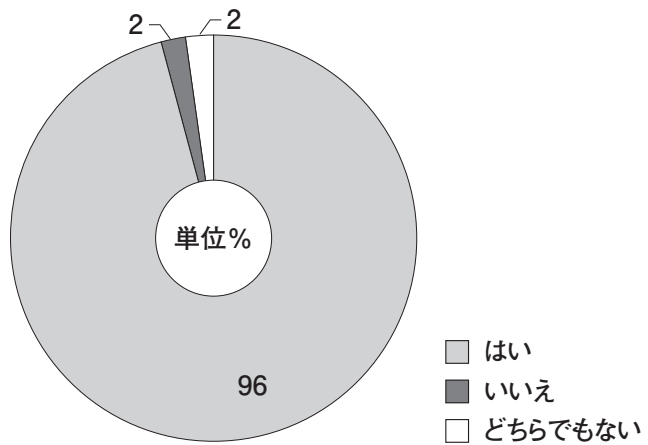


図10 講習会があったらまた参加したいか (N=242)

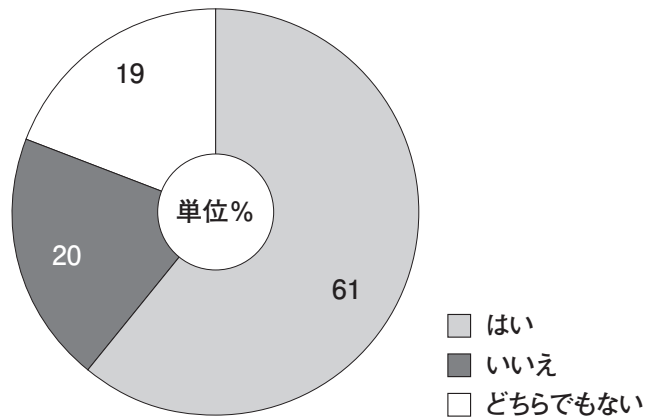


図11 機会があれば当相談所で相談してみようと思うか (N=242)

受講者の傾向 (文京キャンパス)

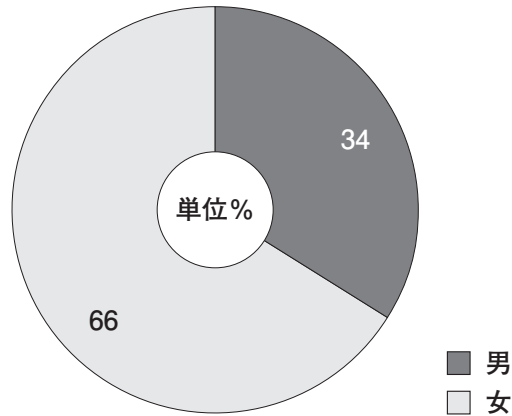


図1 講習会参加者性別構成 (N=119)

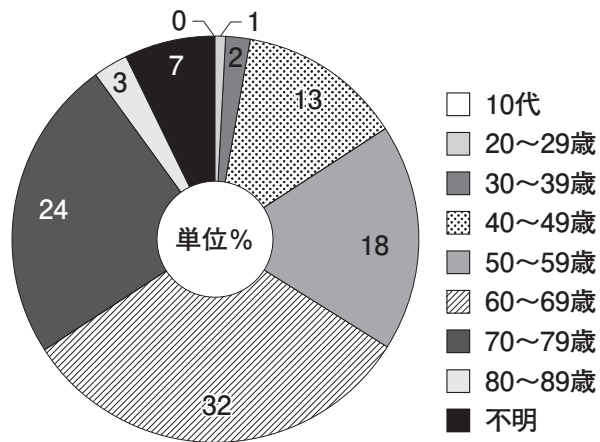


図2 講習会参加者年齢構成 (N=119)

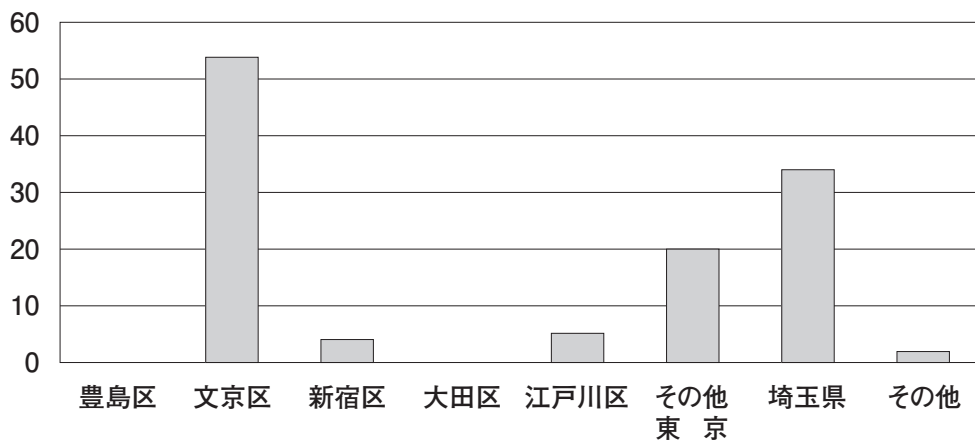


図3 講習会参加者居住地内訳 (N=119)

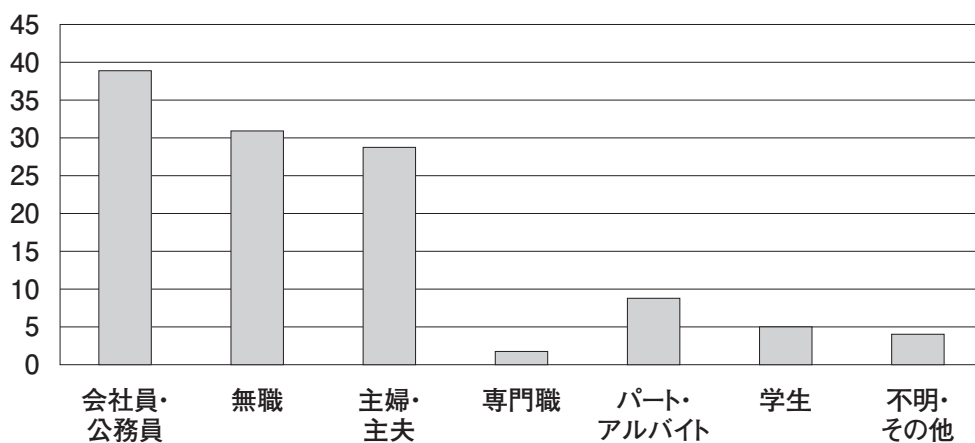


図4 講習会参加者職業内訳 (N=119)

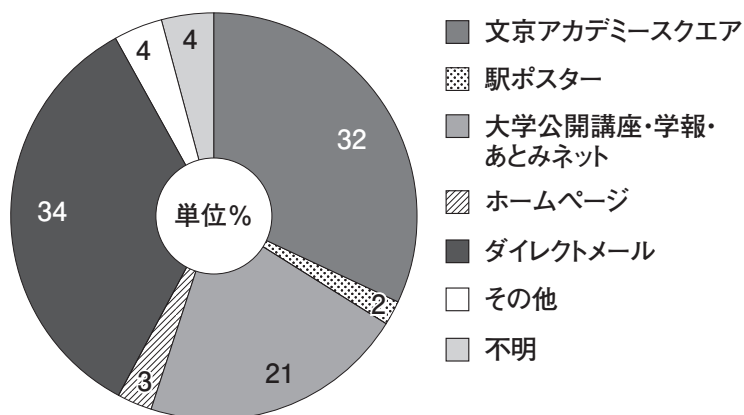


図5 講習会参加者経路内訳 (N=119)

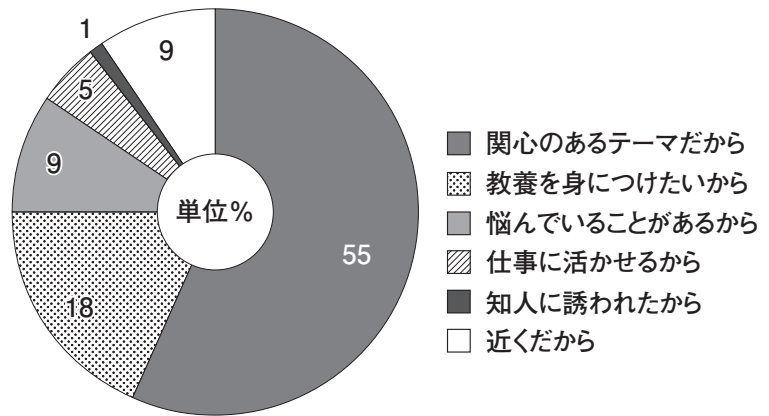


図6 受講した理由 (N=119)

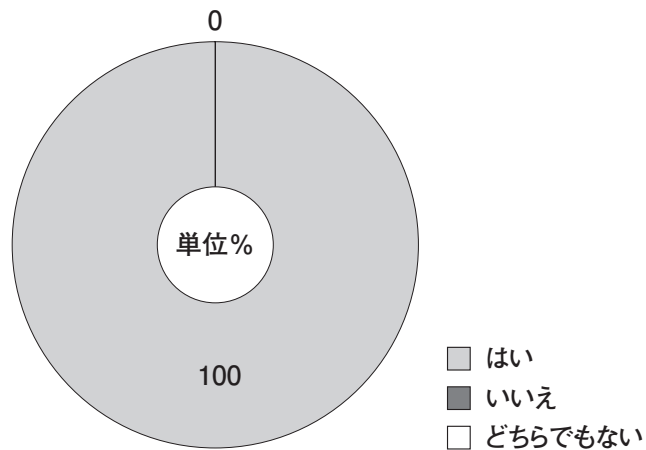


図7 講習会の内容を今後の生活に活かせると思うか (N=119)

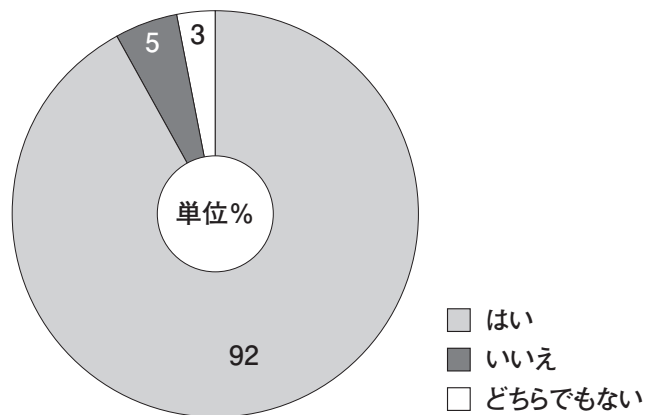


図8 自分自身の悩みや問題を解決する手助けとなったか (N=119)

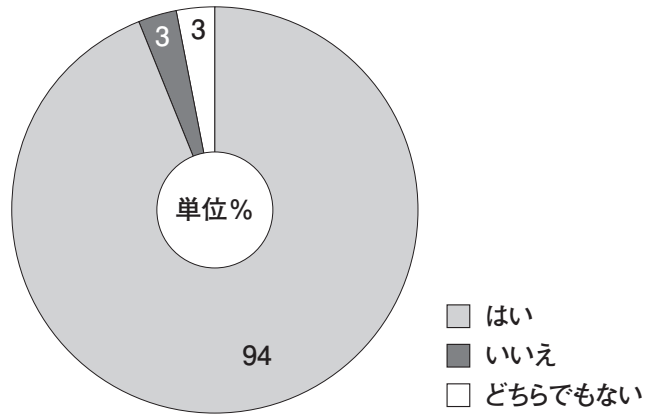


図9 受講内容は期待通りだったか (N=119)

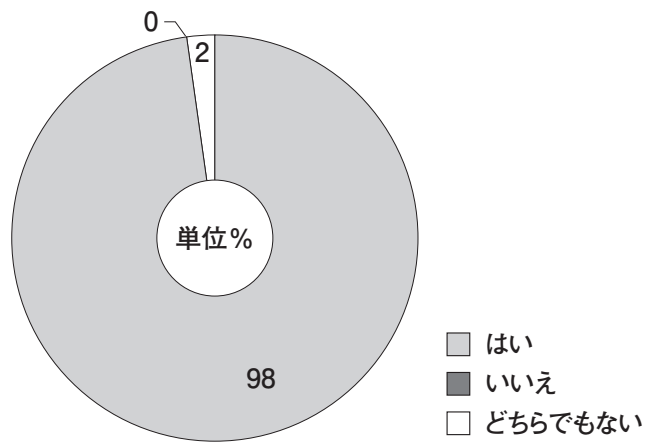


図10 講習会があったらまた参加したいか (N=119)

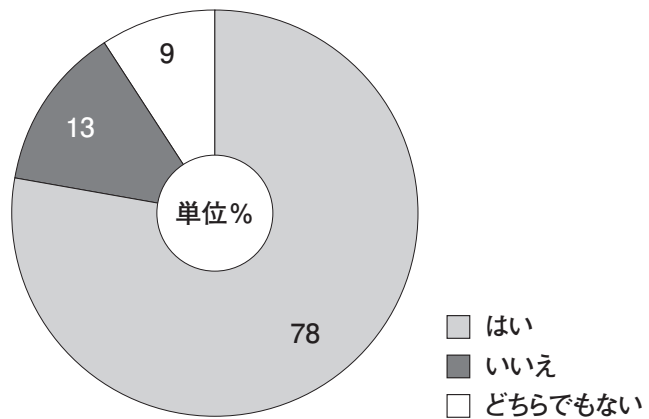


図11 機会があれば当相談所で相談してみようと思うか (N=119)



## 5. 講習会 概要報告

<1> 7月8日(土)・2月8日(木)

元気の素を考える

松崎 くみ子

私たちは、何かと消耗する日々を送っています。昔は、それほど気にしなくても、自然に触れたり、のんびり過ごしたりすることで、元気を取り戻していました。慌ただしい現代に生きる私たちは、「元気を取り戻す工夫」を、意識して毎日の生活に取り入れることが必要です。そんな工夫について整理してお伝えしました。

元気の素と関連しそうな心理学の概念をいくつか紹介しました。

1. 自己効力感
2. 首尾一貫感覚
3. 安全基地
4. 自己コントロール
5. 意欲
6. 自己決定
7. 遂行目標と学習目標
8. リラクゼーション (呼吸法・ボディーサーチ)
9. 活動を増やす
10. 栄養バランス
11. 合理的な不安と不合理な不安
12. 完璧主義と失敗恐怖
13. 決意と覚悟

けれども、すべての項目がすべての人に当てはまるわけではありません。

一人一人の身の回りで起こっていることをよく観察し、どんなときに元気が出て、どんなときに元気がなくなるのか、よく把握することが大切です。

さらに、身の回りで起こっていることの中には、自分の力が及ぶものと及ばないものがあります。悩みの多くは、自分の力が及ばないことを変えようとして、元気をなくし、がっかりすることから起こります。自分の身の回りにある、自分の力で変えられることを見つけて、働きかけ、少しずつ変えてみることで、自分の力では変えられそうにないことは、だれかできそうな人に「こうしてほしい」と伝えてみることで、役に立ちます。

そして、自分にとっての「気分よくなるきっかけ」のレパートリーをなるべく増やして、「元気がなくなってきた」と感じるときに使ってみることで、少し元気を出すことができるかもしれません。おいしいもの？ 青い空？ 小さな花？ 深呼吸？ 動物とのふれあい？ お気に入りの音楽・映像？ 香？ 運動？ カラオケ？

現代の荒波を、なんとかかくじけず乗り越える工夫をふやしたいものです。

## < 2 > 7月15日(土)・2月17日(土)

### 大人の発達障害を理解する

宮岡 佳子

発達障害とは、脳の機能障害であり、対人コミュニケーションが上手にできない、注意力がない、特定の学習が出来ない等の症状が小児期より始まる。このため、日常生活、仕事、学業などで、様々な支障が生じる疾患である。「発達障害」の用法や定義は様々であるが、講義では米国精神医学会の診断マニュアルDSM-5をとりあげ、発達障害に含まれる「自閉スペクトラム症」「注意欠如多動症」「限局性学習症」について説明をした。発達障害が増加している要因には、発達障害の認知が高まってきたこと、発達障害者が生きにくい社会となり症状が顕在化しやすくなったことがあげられる。社会構造は、商業、サービス等の第三次産業へとシフトして、社会性、気働き、自己アピール力等、発達障害の人にとり苦手な能力が要求されている。この点は、いわゆる「大人の発達障害」が増加していること背景でもある。大人の発達障害の中には、小児期から発達障害の診断を受けている人と、青年期、成人期になって障害が明らかとなる人がいる。特に後者では、大学入学や就職を契機に不適応状態となることで症状が顕在化しやすい。例えば大学では、自由度が高いことがかえって発達障害の人には対処が難しい。さらに友人作り、ゼミ、就職活動などで自己アピール力が求められる。社会人になれば、状況に合わせた臨機応変さ、複数のことを行う対処能力、人付き合いのスキルが求められる。発達障害の社会的認知が進み、周囲から発達障害ではないかと指摘されたり、自分でそうではないかと考えて、医療機関を受診する人が増えてきた。発達障害と診断するためには、小児期に発達障害を疑う所見の有無を調べる必要があり、詳細な病歴聴取が必要である。加えて心理検査や現在の状態像より、総合的に診断を付ける。発達障害は診断基準を読んだだけでは、イメージしづらいため、「自閉スペクトラム症」「注意欠如多動症」の架空症例を示して受講者の理解を深めさせた。医療機関で行われる支援のうち、心理社会的支援について具体的に紹介した。段取りが苦手、忘れっぽい、人間関係が苦手などに対して、具体的にアドバイスすることが重要である。最後に周囲の人たちへのアドバイスについても述べた。

## < 3 > 9月1日(金)・1月25日(木)

### もしも身近な人が「うつ」になってしまったら？

酒井 佳永

うつ病は珍しい病気ではなく、約16人に1人が一生のうちに1度うつ病になると報告されている。うつ病の患者数は2008年に100万人を超え、この十数年で2倍以上に増加している。また躁うつ病は「うつ状態」と「躁状態(気分が高揚した状態)」を繰り返す精神疾患であり、うつ病とは治療方法が異なる。躁うつ病患者はうつ状態のときに病院を受診することが多いため、うつ病と誤診されやすいことが指摘されており、注意が必要である。

またうつ病や躁うつ病を患った人がなかなか社会復帰できない、社会復帰時に再発を繰り返してしまうなどの困難を経験することがある。その理由として、①従来のうつ病治療

では薬物療法と休養による急性期治療に焦点があてられ、リハビリテーションが十分に行われていないこと、②症状が改善して自宅療養できる状態と、病前と同じように仕事や家事をできる状態とのギャップが大きく、社会復帰することにより急激なストレスがかかってしまうことなどがある。

うつ病、躁うつ病患者にとって、家族は重要なサポート資源である。家族ができるサポートとして、急性期には休息できる環境づくりや、客観的に症状を観察して医療従事者に伝えること、また回復期には状態に応じて背中を押す、焦って無理をしがちな患者さんにはブレーキをかけてあげることなどがある。

しかしうつ病、躁うつ病は、家族にとっても様々な負担や困難をひきおこすことが知られている。家族が体験する困難には、経済的な困難、症状による行動（自殺念慮、暴言、暴力など）、医療機関との関係、世間からの偏見などがある。患者を支えるうえで大切なことは、家族がまず自分自身の生活と健康を大切にし、患者のサポートを一人で抱え込まないように留意すること、そして他の家族メンバー、医療機関、さまざまな相談機関など、家族自身をサポートしてくれる資源を確保することである。そして医療関係者は家族へのサポートをしっかりと行う必要がある。

講演ではうつ病および躁うつ病の基本的な知識を解説したうえで、家族や友人など身近な人が「うつ」になってしまった場合の対処方法を述べた。最後に家族が利用できる社会資源を紹介した。

#### < 4 > 9月8日(金)・2月1日(木)

##### 自分でできるストレス・マネジメント ―ストレスの自己診断と対処法―

中野 敬子

ストレスは誰もが毎日のように経験し、避けることは出来ない。何か生活に新しいことや変化があり、その事に適応しなければならぬ時、人はストレスを経験する。ストレスには個人を取り巻く環境、人格、行動様式など複数の要因が影響を及ぼしており、個人の出来事に対する認識が大きな影響を及ぼす。出来事をチャレンジだ、転機の良いチャンスだ、面白いなどと考える人は、活発に活動し、生き生きと過ごす。一方、同じ出来事でもプレッシャーを感じ、重荷だ、面倒なことになったなどと考える人は、胃が痛くなったり、不安を感じたりする。

逆境、トラウマ、深刻な人間関係、健康、経済的問題など様々なストレスや困難な事態を経験した後もよい機能を保ち続け、その状況から回復できる能力として近年、レジリエンスが注目されている。レジリエンスが高い人は、身体的、情緒的、経済的、社会的困難や苦痛となる状況を経験することがないわけではなく、感情的痛みや悲しみを抱くが、その困難や苦痛から立ち直る力がある。さらに、人生の危機を学習、成長、発展の機会とし、危機的状态から回復するだけでなく、効果的に状況に働きかけ、その経験から学びとったものを人生に取り入れ、成長することが出来る。

ストレス反応、ストレスとなる出来事、ストレス耐性、ストレス回復力についての説明および自己診断実施の後、弁証法的行動療法の心理社会的スキルトレーニングを基にした対人関係保持スキル、マインドフルネス、感情のコントロールスキルの3つのストレス対処法をご紹介した。対人関係保持スキルは、バランスの良い人間関係を維持する方法であり、必要なことを要求し、嫌なことを拒否し、対人関係の葛藤に対処し、その関係を維持し、自尊心を保つ方法である。マインドフルネスは瞑想の心理学的、行動的方法で、「賢い心」、観察し、描写し、自意識的にならずに関与する「把握スキル」、判断しない、断定的でない、決めつけない態度で、そのとき1つのことに集中し、実際にうまく行くことを行う「対処スキル」を修得して頂いた。感情のコントロールでは、感情の過度の抑制、怒りの爆発を減少させる様々な方法をご紹介した。ストレスに関する心理学的知識を得て、さらにストレス・マネジメント法を習得して頂き、自分を知って長所を生かし、短所を改善する自分にあった上手なストレス対処法を身に付けて頂いた。

#### < 5 > 9月16日(土)・2月22日(木)

##### 不登校の子どもの理解と関わり方

野島 一彦

1. 不登校の理解＝不登校が起こるのには、3つの要因(本人・家庭・学校)がかかっている。たった一つの要因だけで起こることは殆どなく、複合的要因で起こる。きっかけとしては①友人関係、②教師との関係、③学業のこと、④健康や容姿のこと、⑤その他である。不登校のタイプは、①「無気力型」、②「遊び・非行型」、「情緒混乱型」(神経症型)、④「学校生活起因型」等があるが、実際には複合型が多い。経過はタイプにより多少異なるが、<優等生の息切れ型>がもっとも典型的で、①心気症的時期、②攻撃的時期、③自閉的時期、④回復期と推移する。

2. 不登校の対応＝(1)早期発見の仕方：日頃からの情報収集＝快食・快眠・快通、顔色、服装、挙動等の観察。作文、絵、日記等。(2)不登校状態発生の最初の約1週間のかかわり方：最初の1週間は登校させる努力をしてみる。それでうまくいかない時は無駄な登校刺激を与えない。(3)1週間経過後しばらくのかかわり方：担任と子どもとの接触は、<優等生の息切れ型>は困難、無理強いをしないこと。他のタイプは接触する方がよい。(4)不登校が数週間以上にわたる時のかかわり方：放置しないで何らかの手を打つ(放置することは「引きこもり」を固定化させる)。担任と保護者との面談を定期的に行い連携する。親がカウンセリングを受ける。担任がスクールカウンセラー、相談機関に相談しコンサルテーションを受ける。(5)再登校前後のかかわり方：子どもは、学期、学年の切り替わり時、修学旅行、受験前、卒業間際などが動きやすい。しばらくは不安定登校が続くことが多い。

## 6. OB・OGカンファレンス報告

臨床心理学専攻の修了生（1～11期生：136名）の＜院修了後教育＞として、心理臨床家としての資質向上のために、月に2回（火曜、土曜）、文京キャンパスで「OB・OGカンファレンス」を実施している。以下が今年度の参加状況である。

### 2017年度 OB・OGカンファレンス報告

跡見学園女子大学人文科学研究科臨床心理学専攻（平成28年度までの修了生＝136名）

回	日程	OB・OG参加者数	教員参加者数	院生参加者数	総数
1	4月22日（土）	4	4	13	21+（4）
2	4月25日（火）	7	3	11	21+（1）
3	5月13日（土）	2	3	11	16
4	5月23日（火）	8	3	10	21+（1）
5	6月10日（土）	2	3	11	16+（2）
6	6月27日（火）	7	2	12	21+（1）
7	7月1日（土）	4	2	10	16
8	7月26日（水）	7	4	8	19+（1）
9	9月26日（火）	4	3	7	14+（1）
10	10月7日（土）	1	1	8	10+（6）
11	10月24日（火）	7	2	8	17+（2）
12	11月14日（火）	8	2	7	17+（2）
13	11月25日（土）	5	2	1	8+（2）
14	12月16日（土）	2	1	5	8+（5）
15	12月19日（火）	7	2	3	12+（1）
16	1月16日（火）	8	2	6	16+（1）
17	1月20日（土）	2	1	6	9+（6）
18	2月13日（火）	7	3	4	14+（1）
19	3月17日（土）	3	1	8	12+（2）
20	3月20日（火）	6	1	5	12+（1）
	2017年度合計 （のべ数）	101	45	154	300+（40）

## 7. 委員会報告

平成29年度の委員会開催は、以下の通りであった。

### 第1回 心理教育相談所委員会

日 時：平成29年6月7日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島一彦、佐藤富雄、イシカワカズ、宮岡佳子、宮崎圭子

- 内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告  
2. 平成28年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告  
3. 平成29年度心理教育相談所活動報告（4・5月期）  
4. 平成29年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4・5月期）  
5. 平成28年度不登校を考える親の会報告  
6. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告  
7. 平成28年度スーパービジョン研修会報告  
8. ふれあいカフェ開催について  
9. 八千代助産院おとわバース「おしゃべりたいむ」活動報告について  
10. 文京区教育センターとの連携  
11. 文京区ひきこもり等支援者連絡会  
12. 平成29年度心理教育相談所広報活動計画  
13. 平成29年度心理教育相談所講習会日程  
14. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任命に関する件について  
15. その他

### 第2回 心理教育相談所委員会

日 時：平成29年10月11日（水） 10：00～10：30

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島一彦、佐藤富雄、イシカワカズ、松崎くみ子、宮岡佳子、宮崎圭子

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（4月～9月期）  
2. 平成29年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4月～9月期）  
3. 平成29年度心理教育相談所講習会（新座）実施報告  
4. 平成29年度心理教育相談所講習会（文京分室）実施予定  
5. 平成29年度心理教育相談所紀要について  
6. 文京区教育センターとの連携について  
7. 八千代助産院おとわバース「おしゃべりたいむ」活動報告について  
8. 7.1ふれあいカフェ実施報告

## 9. カルテの保管期限に関する申し合わせ

### 第3回 心理教育相談所委員会

日 時：平成30年2月7日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島一彦、佐藤富雄、イシカワカズ、松崎くみ子、宮岡佳子

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（4月～1月期）  
2. 平成29年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4月～1月期）  
3. 平成30年度心理教育相談所開所日程（案）  
4. 平成30年度心理教育相談所予算申請について  
5. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任命に関する件  
6. 八千代助産院おとわバース「おしゃべりたいむ」活動報告について  
7. 文京区教育センターとの連携について  
8. 平成30年度心理教育相談所インターン合否判定

## 8. 担当者会議報告

平成29年度の心理教育相談所担当者会議開催は、以下の通りであった。

### 第1回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年4月5日（水） 12：20～12：55

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤、酒井、中野、松崎、宮岡、宮崎、新井、前場

- 内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告  
2. 平成28年度大学院学外実習報告  
3. 平成28年度不登校を考える親の会報告  
4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告  
5. 八千代助産院おとわバース開催について  
6. スーパービジョン研修会報告  
7. 文京区教育センターとの連携  
8. 文京区ひきこもり等支援者連絡会  
9. 平成29年度心理教育相談所講習会について  
10. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任命に関する件  
11. 平成29年度心理教育相談所担当者一覧について  
12. 5/20（土）さくらルーム閉所について

## 第2回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年5月10日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤、酒井、中野、松嵩、宮岡、宮崎、新井、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（4月期）  
2. 平成29年度大学院学外実習報告（4月期）  
3. 平成29年度不登校を考える親の会報告  
4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
6. ふれあいカフェ開催について  
7. 平成28年度八千代助産院おとわバース「おしゃべりたいむ」活動報告  
8. 文京区教育センターとの連携  
9. 志木市教育サポートセンターホームスタディ教育支援員募集について

## 第3回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年6月7日（水） 12：50～13：20

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤、酒井、中野、松嵩、宮岡、宮崎、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（5月期）  
2. 平成29年度大学院学外実習報告（5月期）  
3. 平成29年度不登校を考える親の会報告  
4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
6. 文京区教育センターとの連携  
7. 院生からのプレイルーム玩具等の購入依頼時の立替え者について

## 第4回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年7月12日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤、酒井、中野、宮岡、宮崎、新井、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（6月期）  
2. 平成29年度大学院学外実習報告（6月期）  
3. 平成29年度不登校を考える親の会報告  
4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
6. 文京区教育センターとの連携



7. ふれあいカフェ実施報告
8. 八千代助産院おとわバース開催について
9. 心理教育相談所紀要第14号への投稿について
10. 心理教育相談所新パンフレットについて
11. M1の陪席開始時期について
12. カルテの保管期限について
13. 8月・9月の相談所担当者（案）について
14. さくらルーム講習会について

#### **第5回 心理教育相談所担当者会議**

日 時：平成29年9月6日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤、酒井、中野、松崎、宮岡、宮崎、新井、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（7・8月期）
2. 平成29年度大学院学外実習報告（7・8月期）
  3. 平成29年度不登校を考える親の会報告
  4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告
  5. スーパービジョン研修会報告
  6. 文京区教育センターとの連携
  7. 和光市教育研究会
  8. 相談所の事故について
  9. 学内実習報告書の作成について
  10. さくらルーム講習会日程について

#### **第6回 心理教育相談所担当者会議**

日 時：平成29年10月4日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤、酒井、中野、宮岡、宮崎、新井、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（9月期）
2. 平成29年度大学院学外実習報告（9月期）
  3. 平成29年度不登校を考える親の会報告
  4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告
  5. 平成29年度心理教育相談所講習会（新座）報告
  6. 心理教育相談所紀要第14号について（投稿申し込み状況）
  7. スーパービジョン研修会報告
  8. 文京区教育センターとの連携

9. 八千代助産院おとわバース開催について
10. カルテの保管期限について

#### 第7回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年11月8日（水） 12：20～13：00

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤、酒井、中野、松壽、宮崎、新井、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（10月期）  
2. 平成29年度大学院学外実習報告（10月期）  
3. 平成29年度不登校を考える親の会報告  
4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
6. 文京区教育センターとの連携  
7. 八千代助産院おとわバース「おしゃべりたいむ」活動報告  
8. 平成29年度臨床心理士資格試験（1次）の結果について  
9. 来年度インターカー増員について  
10. 学校と相談所の連携について  
11. 面接室以外の臨時使用について

#### 第8回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年12月6日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤、酒井、中野、松壽、宮崎、新井、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（11月期）  
2. 平成29年度大学院学外実習報告（11月期）  
3. 平成29年度不登校を考える親の会報告  
4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
6. 文京区教育センターとの連携について  
7. インターカー増員の件  
8. 平成30年度心理教育相談所インターン選考基本方針・実施要項(案)について  
9. 跡見学園女子大学の学生相談室への修了生の就職のお願いについて  
10. 大学案内の情報提供について  
11. 跡見リポジトリへの相談所紀要の掲載について  
12. 相談所紀要の締切日について  
13. その他

### 第9回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成30年1月10日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤、酒井、中野、松寄、宮岡、宮崎、新井、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（12月期）  
2. 平成29年度大学院学外実習報告（12期）  
3. 平成29年度不登校を考える親の会報告  
4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
6. 文京区教育センターとの連携  
7. 八千代助産院おとわバース開催について  
8. 2月期・3月期相談所担当一覧（案）について  
9. インターカー増員の件  
10. 来年度M2（現：M1）の学外実習について

### 第10回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成30年2月7日（水） 11：30～12：00

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、阿部、伊澤（途中退室）、松寄、宮岡、新井（途中退室）、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（1月期）  
2. 平成29年度大学院学外実習報告（1月期）  
3. 平成29年度不登校を考える親の会報告  
4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
6. 文京区教育センターとの連携  
7. 2名の増員インターカーの勤務日  
8. 平成30年度心理教育相談所開所日程（案）  
9. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任期について  
10. 平成30年度心理教育相談所講習会について（案）

### 第11回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年3月7日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館 2571会議室

出席者：野島、阿部、酒井、中野、松寄、宮崎、新井、前場

- 内 容：1. 平成29年度心理教育相談所活動報告（2月期）  
2. 平成29年度大学院学外実習報告（2期）

3. 平成29年度不登校を考える親の会報告
4. 平成29年度OB・OGカンファレンス報告
5. スーパービジョン研修会報告
6. 文京区教育センターとの連携
7. 平成29年度ATOMIさくらルーム講習会実施報告
8. 平成30年度心理教育相談所インターン選考結果報告  
新規 = 7名、継続 = 7名 合計14名が来年度インターンとして登録
9. 平成30年度心理教育相談所インターカー選考結果報告  
新規 = 2名
10. 平成30年度インターカー勤務日について
11. 平成30年度心理教育相談所オリエンテーション
12. その他